

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52411	幼児表現(造形Ⅰ) Drawing and manual art I	浅尾 知子			1	必修	1年後期

**科目の概要**

絵の具・パス・サインペン・版画インクといった造形の作品制作に使用する描画材料は、工夫して用いることでさまざまな表現が可能になる。この授業では造形の作品制作を通して、子どもの視点から制作におけるポイントを探していく。また、幼児教育及び、保育の現場で活躍できるための知識・技能を修得する。  
本授業は、ディプロマ・ポリシーの②③④に相当する。

学修内容	到達目標
① 20種類の平面技法を学び、まとめる。 ② 友だちの作品を見ながら、各々の表現を認め合う。 ③ 身近な素材を使い、制作を工夫して楽しむ。 ④ 保育者として配慮すべきことを考え、まとめる。 ⑤ 子どもの視点を意識した制作から、表現を楽しむ。	① ものの美しさに対する豊かな感性をもつことができる。 ② 自分なりの表現を楽しむことができる。 ③ 生活の中から作品のイメージを膨らますことができる。 ④ 保育者として配慮すべき内容を知ることができる。 ⑤ 子どもに伝えるべき技術を身につけることができる。 ⑥ ディプロマ・ポリシーの②③④に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	自分がすべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。周囲に流されず、やるべきことに集中できる。
	働きかけ力	同じ目標を持つ仲間として、学ぶべき事、やるべきことを周囲と共有し、ともに成長しようとする事ができる。
	実行力	自分の力を把握し、完成までに必要な時間を見極め、計画的に制作を進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	毎回の制作過程や、活動の終わりに自分に足りない力を分析することができる。
	計画力	ドローイングの手順として、どのような準備が必要か、考えながら取り組むことができる。
	創造力	既存のイラストやキャラクターにとらわれず、自分なりのモチーフによって楽しく制作ができる。失敗した箇所は、そこから新たな発想で異なるイメージに発展させることができる。
チームで働く力	発信力	制作のまとめにおいて、自分だけでなく、だれが読んでも手順を理解できる工夫がされている。また、分かりやすく伝えることができる。
	傾聴力	内容の確認や質問などを行いながら、相手の意見を正確に理解することができ、必要な情報を得るために集中することができる。
	柔軟性	自分の考えに固執せず、周囲の意見を新しい考えとして積極的に受け入れ、制作に活かすことができる。
	状況把握力	準備や片付けにおいて、周囲の状況から自分の役割を理解し、行動することができる。
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動はせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる
	ストレスコントロール力	ストレスの原因が何なのか自身をみつめるとともに、一人で抱え込まず、信頼できる人(家族や教員等)に相談し、解決できるよう努める。

**テキスト及び参考文献**

テキスト：  
参考文献：幼児造形の基礎 編著 樋口一成 萌林書林

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：造形Ⅱ  
資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

技法についていかにしてまとめてあるかを重視する。保育者としてどういった要点があるのか考えながら取り組んでほしい。毎回の説明を聞き漏らさないこと。また、提出期限を必ず守ること。・事前事後の学習には、NotebookLMを活用して取り組んでください。	わからないことについては質問をして欲しいが、すでに説明した内容と同じことは受け付けない。欠席などでできなかった分は、友達に聞いて必ずやること。また、提出期限を必ず守ること。
---	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト	0	①		⑥	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
平常評価	レポート	0	①		⑥		
			②				
			③				
			④				
			⑤				
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール管理をし、提出期限を必ず守ることが必要である。</li> <li>・すべての技法をまとめ、提出しなくてはならない。</li> <li>・制作過程のまとめを見やすく、分かりやすくまとめる。特にポイントとなる3つの視点（・気が付いたこと・子どもに気を付けること・次にうまくできるために）について、自分なりによく考えることが必要である。各項目のまとめ方を重視し、制作と共に総合的に評価する。</li> </ul>	
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①		⑥	<small>（主体性）</small> ・技能習得のために指示がなくても自ら工夫を凝らした制作ができる。 <small>（実行力）</small> ・自分の力を把握し、完成に向かって集中して取り組むことができる。 <small>（課題発見力）</small> ・毎回の制作過程や、活動の終わりに自分に足りない力を分析し、改善に取り組むことができる。 <small>（創造力）</small> ・既存のイラストやキャラクターにとらわれず、一つのイメージから身近なものをヒントにさらに違うイメージを発想するなど、制作を楽しむことができる。 <small>（発信力）</small> ・制作のまとめにおいて、自分だけでなく、だれが認んでも手順を理解できる工夫がされている。また、分かりやすく伝えることができる。 <small>（傾聴力）</small> ・常に優先順位を意識し、自分が今、耳を傾けなくてはならないことは何なのか考えることができる。また、他人の優先順位を乱すようなことをしない。 <small>（規律性）</small> ・遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②				
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>★それぞれの技法について見やすく、分かりやすくまとめており、ポイントについても自分が子どもに対して指導することを前提とした思慮がされていること。提出期限を守ること。 (①) ★技法を使った作品も非常に丁寧に作られており、全体として本科目を楽しんでいることが伝わるような仕上がりが見られること。 (②)</p> <p>S (秀) = ①+②、A (優) = ①</p>	<p>★それぞれの技法についてまとめており、ポイントについても自分が子どもに対して指導することを前提とした思慮がされていること。 (①)</p> <p>★完成作品を、期限を守って提出すること。 (②)</p> <p>B (良) = ①+②、C (可) = ②</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ガイダンス 「色鉛筆の100色パレット」扱いやすい画材は、その使い方を工夫することを忘れてしてまいります。使い方だけでなく表現が広がることを実感します。	演習 この授業の到達目標の基準を確認する。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	本科目の進行について理解する。色鉛筆の重ね塗りによる表現の広がりを理解する。	(復習) 色鉛筆の重ね塗りの順番で違う色が作れることをまとめる。 (予習) ドリッピングの技法について調べておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「吹きながし」「たらし絵」「合わせ絵」子どもたちの身体能力は未発達な部分もあります。表現活動の中で、どのような点に注意すべきかを考えます。	演習 友だちと作品を鑑賞し合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。身体能力と描画による表現の密接な関係を理解する。	(復習) 身体能力と描画による表現の密接な関係を理解する。(予習) 歯ブラシ、スポンジを使った描画法について調べる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「霧ふりかけ」「にじみ絵」「スポンジ画」どういった完成図にするか、計画しながら制作を進めていき、その中から新たな発想が浮かぶことがあります。	演習 友だちと作品を鑑賞し合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。構想を練って計画的に制作を進めることができる。	(復習) 手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習) 保育現場における子ども手形の意味について考える。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「サインペンの水描き」「指絵」「手型足型とり」身体の形を使った描画は、特に子どもにとっては成長の軌跡となります。その表現の魅力を実感します。	演習 友だちと作品を鑑賞し合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。絵の具の感触を直に感じる。子どもと同じ感覚で表現を楽しむ。	(復習) 子どもが様々なものに触れ、感じ、学ぶことについて調べる。 (予習) クレヨン・パスの定義について調べる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「ステンシル」「ひっかき絵」「はじき絵」画材を組み合わせることで科学的な効果が起こり、子どもにとって、あっと驚くような制作を体験します。	演習 友だちと作品を鑑賞し合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。クレヨン・パスを使った表現について注意点を理解し、楽しむことができる。	(復習) クレヨン・パスの持つ特性を理解し、制作をまとめる。 (予習) 基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「フォトモンタージュ」「スチロールモノプリント」「ボンド版画」版を刷るには凹凸をつくらねばなりません。その方法は色々あります。子どもにとっても身近なものを使って版をつくりまします。	演習 友だちと作品を鑑賞し合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。版画は手順の多い制作の一つであるが、説明に耳を傾け、理解し、丁寧な制作ができる。	(復習) 手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習) 基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「紙版画」「転写刷」版を刷るには凹凸をつくらねばなりません。その方法は色々あります。子どもにとっても身近なものを使って版をつくりまします。	演習 友だちと作品を鑑賞し合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。版には凹凸が必要であるが、逆に凹凸があれば何でも版になることを理解する。	(復習) 手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習) 基礎的な版画技法について調べ、作品の構想を練る。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「ダンボールの型押し」「孔版」同じ形を画面上に繰り返せることが、版の特徴です。その特徴を理解し、十分に造形遊びに取り組みます。	演習 友だちと作品を見せ合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。繰り返しは子どもが没頭するときの特徴的な行動であることを理解する。	(復習) 繰り返しは子どもが没頭するときの特徴的な行動であることを理解し、制作をまとめる。 (予習) 身近な素材を使った制作に備える。子どもの嫌いな野菜を調べる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「重ね色スタンプ」「ビー玉ころがし」生活の中には描画材となりえるものが沢山あります。それらはそのまま素材にもなるし、道具にもなりません。	演習 友だちと作品を鑑賞し合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックをする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。身近なものを描画材として使う柔軟な発想を養う。	(復習)他にどのような身近な素材が描画材に活かせるか考える。 (予習)世界のマブリングの技法について調べる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「ウォッシング」「墨ながし」「こすり出し」手順や気を付けるべき所が多い制作は、十分に説明を理會しておかなくてはなりません。	演習 友だちと作品を鑑賞し合いながら、お互いの制作の評価を確認する。工夫された部分や、面白い表現に気付く。制作中は机間巡視し、制作に関するコメントやアドバイスをすることでフィードバックをする。また、随時これまで制作したものもチェックする。	各技法について、制作とまとめを完成する。説明に耳を傾け、理解し、丁寧な制作ができる。	(復習)手順の多い制作については、構想を練って計画的に制作を進めなくてはならないことを理解する。 (予習)たこ糸を使った描画法について調べる。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「絵カードの原画制作」愛知学泉大学短期大学部・幼児教育学科から発刊する『絵カード』の原画制作を行う。テーマに沿った原画の内容をグループで考えて表現する。	演習	テーマに沿った原画を制作するためにグループの仲間と協力し、本授業で実践した技法を活かすことを考えながら原画の下絵を作成する。	(予習)作品の構想を練る。 (復習)各自必要なものの準備や制作を進める。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「絵カードの原画制作」愛知学泉大学短期大学部・幼児教育学科から発刊する『絵カード』の原画制作を行う。テーマに沿った原画の内容を考えて表現する。	演習	原画の完成を想定して、グループの仲間と協力しながら原画の制作を行うことができる。	(予習)作品の構想を練る。 (復習)各自必要なものの準備や制作を進める。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「絵カードの原画制作」愛知学泉大学短期大学部・幼児教育学科から発刊する『絵カード』の原画制作を行う。テーマに沿った原画の内容を考えて表現する。	演習	原画の完成を想定して、グループの仲間と協力しながら原画の制作を行うことができる。	(予習)作品の構想を練る。 (復習)各自必要なものの準備や制作を進める。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「絵カードの原画制作」愛知学泉大学短期大学部・幼児教育学科から発刊する『絵カード』の原画制作を行う。テーマに沿った原画の内容を考えて表現する。	演習	原画の完成を想定して、グループの仲間と協力しながら原画の仕上げを行うことができる。	(予習)作品の構想を練る。 (復習)各自必要なものの準備や制作を進める。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	身の回りのかたちや色に注目して、自分なりの表現を实践する。	演習	身の回りのかたちや色に注目して自分なりの表現を行うことができる。	(復習)作品の写真をGoogle classroomにて提出する。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52412	幼児表現(造形Ⅱ) Drawing and manual (artⅡ)	浅尾 知子			1	必修	2前期

**科目の概要**

この授業では、造形の指導者になるということを強く意識しながら、造形の構成要素である「色」「材料」および「道具」の基礎、理論を修得する。また、保育者自身がカリキュラムといえる保育の世界において、子どもたちの創造的な表現活動を導き出すためには、保育者自身が感性を磨くことも大切になる。よって、自らの感性を高めるべく、習った理論に基づいた各種の制作も行う。この制作も常に保育現場を想定しながら展開していく。そして、子ども造形の理論についても修得する。子どもの造形の理解については、理論学習に加え、子どもが制作した作品の鑑賞をとおして深めていくこととする。学びの過程で課題を発見し、習得した知識を活用し、課題解決できる力を身に付ける。

学修内容	到達目標
① 造形の構成要素である「色」「材料」および「道具」の基礎・理論を習得する。 ② ①で習った基礎・理論に基づいて制作をおこなうことにより、より深い理解を目指すとともに、保育者としての感性を磨く。 ③ 子どもの造形やその造形理論について習得する。 ④ 保育者として配慮すべきことを考え、まとめる。	① 色の三要素や特性（三原色、混色、補色の混色）を理解し、それに関する作品を作ることができる。 ② 保育造形に使う画材、材料、道具を理解し、それに関する作品を作ることができる。 ③ 子どもの造形やその造形理論について理解し、指導する手立てを修得することができる。 ④ 保育者として配慮すべき内容を知ることができる。 ⑤ 子どもに伝えるべき技術を身につけることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題を行うために、自ら進んで学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題をするために、手順や方法を考えて確実に目標に向かって進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	必要な情報を見つけて整理し、自ら課題を見つけることができる
	計画力	
	創造力	課題を終了するために、造形的創造力を発揮することができる。
チームで働く力	発信力	発表の仕方を工夫して発表できる。
	傾聴力	人の発表に耳を傾け、実践的な理解を深めることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：なし  
 プリント配布あり（記入し提出する必要あり）  
 参考文献：幼児造形の基礎

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：幼児表現（造形Ⅰ）、保育内容（表現）  
 資格との関連：保育士資格・幼稚園教諭二種免許・（准学校心理士）

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶという自覚を持って取り組んでほしい。</li> <li>・課題として作品の提出があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分を超えた遅刻は、欠席扱いとする</li> <li>・すべての提出物を出さないと及第しない</li> <li>・提出期限に遅れた場合は減点する</li> <li>・授業態度が悪い場合は減点することがある</li> <li>・遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある</li> </ul>
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
		レポート		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		90	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>制作課題を、期限内に提出し、創造的で完成度が高いこと。                      加点課題については記入漏れ等がなく期限内に提出すること。                      S（秀）になるためには、全課題の合計が90点以上であること。</p>	<p>制作課題を完成して、期限内に提出すること。                      加点課題については、期限を守って提出すること。                      以上の全課題の合計が70～79点がB、60点以上をCとする</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	導入、簡単な工作 ①造形要素(色、形、素材、道具等)について ②紙を用いた簡単な工作	講義 制作 フィードバック(制作物を評価する)	授業内容を理解できる。紙を用いた簡単な工作を作ることができる。	復習:授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力
2	色についてI ①色づくり(色相環図の制作)	制作 フィードバック(制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	混色によって12色相環図を作ることができる。	予習:作品の構想を練る 復習:授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力
3	色についてII ①色(光の三原色、色料の三原色など)についてI ②36色の色水をつくる ③出来上がった色水を使い、造形遊びをする	講義・制作 フィードバック(授業をまとめたスケッチブックを評価する)	三原色の絵の具を使って、いろいろな色水を作り、色水による36色のパターンをグループによりつくることができる。	予習:作品の構想を練る 復習:授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	造形遊び-新聞を使って- ①色(補色、対照色など)についてII ②新聞を用いて構造物の制作	講義・制作 フィードバック(授業をまとめたスケッチブックを評価する)	授業内容を理解し、グループのメンバーと協力して新聞を用いた構造物をつくることができる。	予習:作品の構想を練る 復習:授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	造形遊び-リリアン編み- ①簡単な構造(トラス構造やアーチ構造、新聞による造形遊び)について ②編み機をつくり、リリアン編みをする	講義・制作 フィードバック(制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	授業内容を理解し、マフラーサイズの編み物をつくることができる。	予習:作品の構想を練る 復習:授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力
6	紙をつかってI-ポップアップカード①- ①子どもの造形(保育造形の基本、子どもの絵の発達など)について ②ポップアップカードの基本形の制作	講義・制作 フィードバック(制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	カッターを使い、紙工作をつくることができる。	予習:作品の構想を練る 復習:授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
7	紙をつかってI-ポップアップカード②- ①子どもの造形(立体造形の発達、保育の中の造形など)について ②ポップアップカードの基本形の制作	講義・制作 フィードバック(制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	カッターと工作用接着剤を使い、紙工作をつくることができる。	予習:作品の構想を練る 復習:授業内容などをスケッチブックへまとめる	90	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
8	紙をつかってI-ポップアップカード③- ①ポップアップカードの基本形の制作	制作 フィードバック(制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	カッターと工作用接着剤を使い、紙工作をつくることができる。	予習:作品の構想を練る 復習:授業内容などをスケッチブックへまとめる	90	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	紙をつかってⅠ-ポップアップカード④- ①ポップアップカードの基本形の制作	制作 フィードバック (制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	カッターと工作用接着剤を使い、紙工作をつくることができる。	予習：作品の構想を練る 復習：授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
10	紙をつかってⅡ-オリジナルメッセージカード- ①ポップアップカードの基本形を用いてオリジナルメッセージカードの制作をする	制作 フィードバック (制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	ポップアップカードの基本形を用いて、自ら考えたメッセージカードの制作をすることができる。	予習：作品の構想を練る 復習：授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
11	紙をつかってⅢ-アニマルフェイス基本形- ①アニマルフェイスの基本形の制作 ②オリジナルアニマルフェイスの構想を練り、制作する	制作 フィードバック (制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	カッターと工作用接着剤を使い、紙工作をつくることができる。	予習：作品の構想を練る 復習：授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力
12	オリジナル作品の制作 (特別講師招聘)	制作 フィードバック (制作物と授業をまとめたスケッチブックを評価する)	自ら考えた作品を制作をすることができる。	予習：作品の構想を練る 復習：授業内容などをスケッチブックへまとめる 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
13	絵本の制作Ⅰ	制作 フィードバック (制作物を評価する)	A Iを参考にして、絵本制作の構想を練ることができる。	予習：作品の制作をする 復習：作品の制作をする 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	絵本の制作Ⅱ	制作 フィードバック (制作物を評価する)	グループのメンバーからのアドバイスを参考に、絵本の制作を行うことができる。	予習：作品の制作をする 復習：作品の制作をする 事前事後の学習にNotebookLMを活用する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	絵本の制作Ⅲ	制作 フィードバック (制作物を評価する)	グループのメンバーと意見交換をし、より良い絵本となるよう制作を行うことができる。	予習：作品制作 NotebookLMを活用する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力